

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	風荷重小委員会	主 査 名：植松 康 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 荷重運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2012 年度～2013 年度：「建築物荷重指針」の改定（2014 年目標）作業。 2014 年度：構造物の合理的耐風設計・耐風性能評価法の普及。 2015 年度：最新の情報交流と風工学研究の進展。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：植松 康 (東北大学) 幹事：大竹和夫 (竹中工務店)、谷口徹郎 (大阪市立大学) 委員：奥田泰雄 (国土技術政策総合研究所)、片岡浩人 (大林組)、片桐純治 (泉創建エンジニアリング)、河井宏允 (東京電機大学)、菊池浩利 (清水建設)、近藤宏二 (鹿島建設)、田村哲郎 (東京工業大学)、寺崎 浩 (大成建設)、西村宏昭 (日本建築総合試験所)、松井正宏 (東京工芸大学)、吉江慶祐 (日建設計)	
設置 WG (WG 名：目的)	設計風速 WG：設計風速の合理的設定法の検討。 風応答 WG：風応答とその荷重評価法の検討。 風力係数・風圧係数 WG：設計用風力係数および風圧係数の充実。 CFD 風荷重評価 WG：風荷重評価への CFD の応用法の検討。	
2012 年度予算	260,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『実務者のための建築物外装材耐風設計マニュアル』
講習会	1. 「実務者のための建築物外装材耐風設計マニュアル」講習会 参加者数 東京：162 名、大阪：75 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. 大会 PD 「CFD による風荷重評価のガイドライン作成に向けて」 参加者数 80 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 概ね予定通り (原稿執筆に着手)。 2. 出版物およびその講習会開催により目標は達成。 3. 大会 PD の開催並びに風工学シンポジウムへの協力により目標は達成。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 関連分野の若手研究者の不足。 2. 委員の固定化 (1. に関連)。